

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 開会前だが、佐古委員が公務のため、少し遅れてくるということだ。

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 調査事件

(1) 水産振興について

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件にかかわっては、前回委員会において理事者への質疑を行い、本市のつくり育てる漁業などの現状について確認した。
- ・ 本日の調査の進め方についてだが、各委員から発言のあったご意見をふまえた今後の調査のポイントと進め方について確認したいと思う。
- ・ まず今後の調査のポイントについてだが、大きく分けて2点あげられるかと思う。
- ・ 1点目は、漁港の活用についてだ。前回委員会において理事者から説明があったとおり、水産庁では平成26年8月にインフラ長寿命化基本計画に基づく行動計画を策定しており、今年度から、漁港機能を集約し、空いた既存の漁港の静穏域を増養殖に活用するなど、既存ストックの再活用を推進する事業が始まっている。
- ・ また、私のほうでも地域の状況ということで調べたが、北海道においては日本海地域漁業振興対策の一つとして、平成27年度から統合漁港増養殖推進事業を実施しており、乙部町の元和地区など6漁港7地区を日本海のモデル的な先進事例として、漁港内の静穏域を活用した増養殖を推進するため、漁港内の飼育環境調査と増養殖に適した有効な漁港整備手法の解析検討を行っている。
- ・ また函館開発建設部では、漁港整備事業として、水産物の出荷調整による安定的な供給体制の確立を目的とした蓄養施設の整備を適宜進めている。
- ・ 本市においても漁業従事者の高齢化や減少により、同様の取り組みが今後必要になるものと見込まれることから、検討する必要があると考える。
- ・ 次に2点目としては、種苗センターのあり方についてだ。

本市に2カ所ある種苗センターは供用開始から20年以上経過しており、設備の不具合も多く出ているため、理事者においても今後のセンターのあり方を検討しているとのことだ。

また、種苗放流は資源増殖の観点からも必要な事業ではあるが、事業の特性上、効果の検証が難しいとの指摘があったので、研究機関との連携など、より効果的な事業を行うためのセンターのあり方を検討する必要があると考える。
- ・ また、水産物の出荷調整に関する意見もあったが、先ほど漁港の活用のなかでお話した蓄養施設を活用した方法や細胞を壊さない冷凍庫に保管する方法など、さまざまな方法があるようなので、あわ

せて調査できればと思っている。

- ・ 正副としては、以上申し上げたところが調査のポイントになろうかと考えるが、いかがか。
（「異議なし」の声あり）
- ・ それではそのように確認する。
- ・ 次に、今後の調査の進め方についてだが、他都市の取り組みも含めて調査することが確認されていることから、ただ今確認した調査のポイントと、前回委員会後、各委員からいただいたご意見を踏まえて、正副としては、増殖溝を活用したウニの増養殖や漁港静穏域の整備による漁場の機能回復事業等を行っている岩手県洋野町と水産振興センターにおいて、種苗生産のほか、放流効果の検証等の研究や、漁業関係者への技術指導を行っている広島県広島市の2市町を対象に調査を行ってはどうかと考えるが、いかがか。

○浜野 幸子委員

- ・ 異議じゃないが、広島、これは目標はウニ、アワビとかカキだ。重点的に広島はどういう目的というか、どういう考えか。

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 水産振興センターというのがあって、ここでいうと函館市国際水産・海洋総合研究センターあるが、全くイコールではないが、調査機関なんかも設けて、現場と調査機関と連携しながら、そういったものを進めるというやり方をしているところなので、うちも函館市国際水産・海洋総合研究センターあったりだとか、研究機関もあるので、どういった役割を果たしていくことを求めるのだかということとここでいくと広島市と似てるのかなということで、そこをどうだろうかということで考えた。

○浜野 幸子委員

- ・ わかったが、昨年の調査して、決して悪くないが、何か地域と離れた感覚の調査内容であったように私はとれたものだから。

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 養殖をとった場合に、何をというのも大事だが、議会の調査なので、行政がどう関わるかだとか、あと行政からどういったところにどんなことを求めていくべきだとか、そういったことが一つ加味されなければ。やっていることが業態として違ったにしても、仕組みというかシステムを参考になるようなところであれば、見に行ったらどうかなという考え方だ。広島のほうは。

○浜野 幸子委員

- ・ 理解はするが、行政でも県庁のあるところとか、国の流れで随分違うところに行って、この地域はどこにぶつければよいかとかそういうのが前回あったので、参考に聞いた。

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 調査先の件はそういうことでよろしいか。（「はい」の声あり）
- ・ 今申し上げたところで決定させていただくということでよいか。（「異議なし」の声あり）
- ・ 日程については、前回も話したが、精力的に調査する必要があるので、9月定例会が終了した後の10月上旬をめどに行きたいと考えている。のちほど調整させていただくのでよろしくお願いします。

○阿部 善一委員

- ・ 今、案あるのか。

○委員長（道畑 克雄）

- ・ できれば10月の一週目くらいとは思っている。受け入れ先の日程のこととかもあるので。そのあたりを中心にして、若干前後したりすることはあるかもしれない。その後となるとご承知のとおり二週目から議会の研修会あったりとか、10月の末まで毎週日程入っている状態なので、そこにぶつけていくというわけにもいかないんで、それであればいつもよりは一週、二週早いのかかもしれないが、10月の上旬ぐらいにやってしまったほうが後々の議論の作業だとか考えれば良いのかなと判断するが、よろしいか。（「はい」の声あり）
- ・ その辺を中心にして後で個別に日程調整させていただくので、皆さんもそこは御協力願う。
- ・ あと、1の水産振興についてだが、各委員から何か発言あるか。

○阿部 善一委員

- ・ 水産振興計画をつくるにあたって、農林水産部が委員会みたいなのをつくって、関係者と意見交換している。その議事録を出せるのであれば今までの分を出してもらいたい。

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 議事録多分つくっていると思うが、部局に確認してみないとわからない。（「農水のホームページに公開されている」の声あり）
- ・ 公開されているとのことだが。

○阿部 善一委員

- ・ 農水の。それであればいい。

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 資料要求しなくても良いということで、ホームページから取っていただくということで。
- ・ あとよろしいか。1の水産振興にかかわって。（「はい」の声あり）
- ・ お諮りする。閉会中の委員会の調査においては、次の定例会で報告することとなるが、委員長の報告文については委員長に一任願いたいのご異議あるか。（「異議なし」の声あり）
- ・ 異議がないのでそのように決定する。
- ・ 議題終結宣言

2 その他

○委員長（道畑 克雄）

- ・ 議題宣告
- ・ 私から一点申し上げる。株式会社函館市榎法華振興公社の清算に関する状況について、最終的な財務状況が確定した時点で改めて報告を受けることを確認していたが、9月定例会で清算事務にかかる補正予算の議案が上程される予定となっている。正副としては、議案として出てくることもあるので必要があれば、議案審査の時点で議案に関する質疑や委員間討議を行ったほうがよいと考えているがよろしいか。（「はい」の声あり）
- ・ それではそのように確認する。
- ・ その他各委員から何か発言あるか。（「なし」の声あり）
- ・ 散会宣言

午後1時13分散会